

(2026年2月に東濃厚生病院と土岐市立総合病院の統合により新病院となります)

岐阜県厚生農業協同組合連合会東濃中部医療センター東濃厚生病院

(公立東濃中部医療センター)

病院の概要

開設時期：令和8年2月(予定)
開設者：土岐市長
院長名：未定
病床数：400床(予定)
標榜科：内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、心臓血管外科、大腸・肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、リウマチ科、アレルギー科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、緩和ケア内科(予定)
医師数：90名(予定)
指導医師数：24名(予定)
外来患者数：828名/日(予定)
入院患者数：299名/日(予定)
所在地：土岐市肥田町浅野1078番200
URL：http://www.tohno.gfkosei.or.jp/



※新病院(イメージ)

※2次元コードは東濃厚生病院のホームページを表示します



病院の特徴

土岐市及び瑞浪市には、土岐市立総合病院及び東濃厚生病院がそれぞれ中核病院として存在し、地域医療を守ってきました。東濃中部地域における医療提供体制については、岐阜県が策定した地域医療構想を踏まえ、将来にわたり継続的・安定的に医療提供ができることを目標として、2病院の統合による400床規模の新病院の建設が進められております。

新病院では、病床機能として、急性期、回復期の他、地域包括、緩和ケア病棟をもち、従来の診療科の他、産科の再開、リハビリ施設の拡充、緩和ケア、発達障害への対応の他、形成外科、歯科口腔外科、ロボット手術などを充実させる予定です。

最新鋭の設備を整えた新病院のスタートにふさわしく、研修医の先生が当院での研修を希望して下さる事を期待しております。

病院長メッセージ



塚本英人

令和8年2月に開院の新病院は瑞浪市と土岐市の中間地点(土岐市肥田町浅野)に建設されます。新病院では、従来の診療科の他、産科の再開、リハビリ施設の拡充、緩和ケア、発達障害への対応の他、形成外科、歯科口腔外科、ロボット手術など充実させる予定です。

新病院で研修医の皆様をお待ちしております。

指導医メッセージ

私たち公立東濃中部医療センターは「地域にいながら、高度な医療を届ける」ことに本気で取り組んでいる病院です。診療科をまたいだ横断的な研修、救急初療から在宅支援まで一貫して患者さんを診る経験。これらは、大きな大学病院ではなかなか得られないものです。

目の前の患者さんと一緒に悩み、一緒に喜び、最良の医療を探し続ける、それが当たり前の日常です。新しい病院には、最新の電子カルテや画像診断機器、手術支援ロボットも完備され、緩和ケア病棟も設置されます。地域医療に興味がある人も、将来は専門医として大きな病院で活躍したいと思っている人も、ここでの経験は、必ずあなたの「武器」になります。

地域を守るという誇りと、高度医療に挑むというプライド、両方を胸に、一緒に成長していきましょう。まずはぜひ、見学に来てください！お待ちしております。

研修医メッセージ

スタッフの人数は決して多くありませんがその分、上級医を含むメディカルスタッフとの距離が近く、患者さんとも挨拶を交わす明るい雰囲気があります。2025年4月現在、研修医は5名ですが、互いに助け合い、研修医室での会話を通じて多くの交流が生まれています。さまざまな診療科で、手技を見学するだけでなく実際に経験を積むことができるため、早い段階から実力を伸ばす機会があります。

4月からは、早速当直が始まります。研修医が主体となって診察・検査・治療まで考える機会がありますが、入院や帰宅の判断は研修医のみで行うのではなく、必ず上級医のサポートのもとで決定します。フィードバックも丁寧に行われるため、自身の改善点をしっかりと把握することができます。当直を含め、日常の診療においても研修医の意見が反映されやすく、医療者としての自覚を持って主体的に関わることができます。指導医も積極的に声をかけてくれるので、学びの場が多くあります。

2026年2月には、隣の市の土岐市立総合病院と病床再編し、「東濃中部医療センター」として新たにスタートします。私たち研修医にとっても初めての経験ですが、一緒に盛り上げていきたいと思っています。もちろん見学も随時受け付けているので、興味があったら是非お越しください！

(本パンフレットに記載している内容のうち、病院長メッセージ、指導医メッセージ、研修医メッセージ以外は統合後のプログラム(予定)となります)

研修スケジュール

患者を全人的に診ることのできる医師としての基本的診療機能を身につけ、プライマリ・ケアに対応できる臨床医としてのトレーニングを行う。2年目の研修後を見据えた柔軟性を持たせたプログラムとなっている。

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	内科						救急			外科	小児科	選択科	
2年次	選択科		地域医療	選択科	産婦人科	選択科	精神科	選択科					

研修協力病院・施設

岐阜県立多治見病院(産婦人科)	春日井市民病院(産婦人科)	土岐市老人保健施設やすらぎ
市立恵那病院(地域医療)	名古屋大学医学部附属病院(産婦人科)	岐阜県赤十字血液センター
国民健康保険上矢作病院(地域医療)	医療法人社団聖泉会聖十字病院(精神科)	医療法人仁誠会大湫病院(精神科)
医療法人徳洲会名古屋徳洲会病院	国民健康保険坂下診療所(地域医療)	中濃厚生病院(救急)
山岡診療所(地域医療)		

研修プログラムの目標

初期臨床研修を将来医療を担うものにとって最も重要な時期の一つとして位置付けております。プライマリ・ケアを含めた医療に関する考え方、基本的知識及び技術を臨床の場において広く修得するのみではなく、医師としてふさわしい人格、責任及び協調性、更に高い倫理観を身につけると共に患者様の立場に立った全人的医療を行うことができる事を目的としています。

研修プログラムの特徴

初年度は内科系24週以上、救急を12週以上、外科、小児科については4週以上、2年次は地域医療、精神科、産婦人科を4週以上行います。残りの期間はそれぞれ希望により選択します。各科の横の繋がりの連携もよく横断的・多角的な研修が可能です。救急外来、当直は2年間を通じて研修し、担当した症例はローテーション科に拘らず主治医と共に受け持ちます。当直は月4～5回程度です。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者
募集人員：7名(予定)
身分：常勤嘱託医
給与：与：年収680～750万円程度(基本給・賞与・諸手当を含む)
住居：等：住居手当として最大27,000円を補助
保険：等：有(健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険)

連絡先

東濃厚生病院 企画総務課
電話番号：0572-68-4111
E-mail：soumuka@tohno.gfkosei.or.jp

交通案内

